# 学びの保障に向けた道教委の取組

~Student First + 2020~



# 学びの保障に向けた道教委の取組

# ~Student First + 2020~

# 「学校の新しい生活様式」

文科省: 学校における新型コロナウィルス感染症に関する衛生管理マニュアル





















## 【家 庭】

- 〇十分な睡眠、バランスのとれた食事
- ○心と体のチェック

(健康観察シート、アンケート)

- ○家庭での学習サポート
- ○電話やSNSによる相談

## 【学 校】

- **加配教員、学習指導員、スクールサポートスタッフ** 等を活用した個別指導、教員業務補助
- ICTを活用した授業・遠隔授業配信「ICT活用授業モデル(Tips編)」「まなLabo(ルーター貸与事業)」等
- 感染症に関する学習、指導
- 対面にならない**配席**、おしゃべりを控えた**給食**
- スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー を活用した相談体制の充実
- 卒業式、入学者選抜試験等行事の「3密」対策
- 修学旅行の最適化(道外→道内 等)
- 部活動最終学年生徒へ活躍機会の提供

「もうひとつのクライマクス」



## 【地域】

○社会教育施設等における放課後や 休業時のオンライン学習

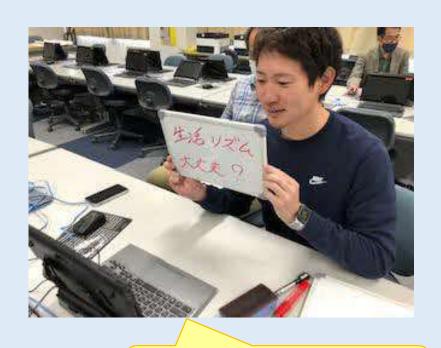


# 「ZOOM」を活用したオンライン学習の実践(中学校の例)

(新篠津村立新篠津中学校 吉本 浩志 校長、全校生徒 68名)

## 臨時休業中の学級ミーティング

## オンラインによる家庭学習への支援



家庭での様子を担任の先生と やりとりしました。



国語や数学などの宿題について生徒同士で話し合ったり、先生に質問したりしながら取り組みました。



# I C T を活用した授業(高校の事例)

一斉学習

クラウド上の学習 ソフトやデータを 活用 協働学習



リアルタイムに考えを共有し ながら協働で学び合います。

一人一人の考えを即時 に把握しながら双方向 的に授業を進めます。









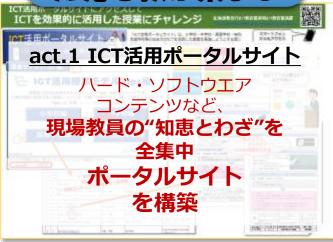
## 個別学習

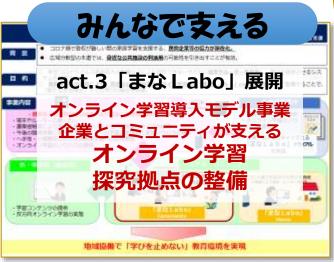
デジタル教材などに より、一人一人に応 じて学習を進めます。

# 学びの保障に向けた道教委の取組

~Student First +2020~

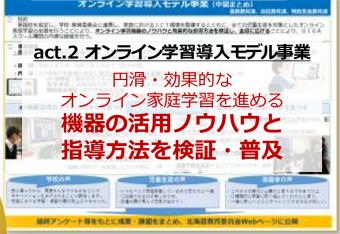
# 知恵と技が集まる







# 家庭と近づく



# 多様性が輝く



# ICT活用ポータルサイトにアクセスして ICTを効果的に活用した授業にチャレンジ

皇下の教料特

遊び・位理

皇王边教科等

情報、形理

再生 店田

・ 競技性を持つ見堂には本の起席

この選用を可提化する

一方技革

漢示主動

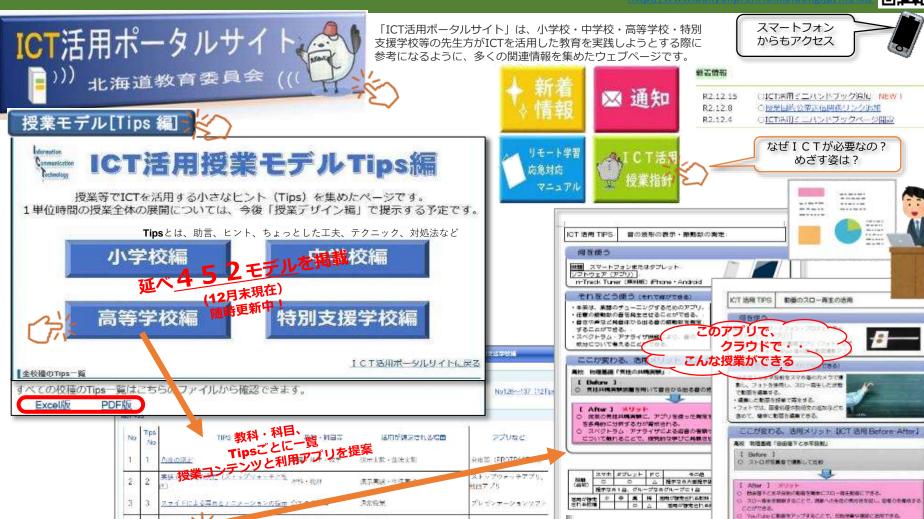
查書、資料作成



の いろいろの実施をスローモーションで各大する影響を呼れてきる。

現井 (世界

作 責任の原則 https://palsubs/DAVEGoAd



鉄直アブル

色のシミュシータ(無料ア

amp modulation Ver5.exe

## オンライン学習導入モデル事業

〇 目的

実践校を指定し、学校・教育委員会と連携し、家庭におけるICT環境を整備するとともに、全ての児童生徒を対象としたオンライン家庭学習の支援を行うことにより、**オンライン学習機器のノウハウと効果的な指導方法を検証し、全道に広げる**ことにより、GIGAスクール構想の円滑な推進を行う。

○ 事業概要

·指定数:8校~伊達市立伊達小学校、今金町立今金小学校、新篠津村立新篠津中学校、富良野市立富良野東中学校、鵡川高等学校、

江差高等学校、旭川養護学校、余市養護学校

・期 間:令和2年7月~令和3年1月まで(約半年間)

・**内 容:**ICT環境が未整備の家庭に**タブレット及びモバイルWi-Fiルーターを貸与**(令和2年7~11月)

小・中学校:最終学年である小6、中3を中心に支援

高等学校:必修科目や学び直しが多い高1を中心に支援

特別支援学校:院内学級等を支援

→オンライン学習のICT機器活用のノウハウと効果的な指導方法を検証し全道へ普及する

#### ICT機器活用のノウハウにかかる気づき

## 指定校での実践取組

#### 効果的な指導方法にかかる気づき



- ・**Webカメラとマイクを活用**した方がスムーズで 見やすい。
- ・ミュートを解除しないルールの設定が望ましい。
- ・部屋の様子が映り込むため、カメラの位置について事前の注意喚起が必要。
- 一人一人の反応を把握しながら学習させるため、可能ならばパソコンを2台活用がベター。
- ・機器は学校で一括管理した方が効率的。 等

- ・円滑に家庭とつなげられるよう、**保護者向け接続マニュアル**を作成、配付すると効果的。
- ・ブレイクアウトルームを活用した小グループによる交流も効果的。
- ・複数体制で実施し、教師の役割分担を明確にすると良い。
- ・**児童のつまずきをその場で把握**することができた。
- ・**画像や図を表示**することで分かりやすい説明 、が可能。 等



#### 学校の声

- ・家に帰ってから、再度みんなでつながることでモチベーションをあげられることに期待します。
- ・家庭における予習・復習の質の向上につながった。

### 児童生徒の声

- ・いつも一人で家庭学習しているので友だちと一緒 に勉強できるのが楽しみです。
- ・友達の顔が見えて元気が出そう!

#### 保護者の声

- ・これからの時代に必要だと思うので今まで以上 に積極的に学習に取り組んでくれたらと思う。
- ・一緒に新しいことにチャレンジできるのが嬉しい。

最終アンケート等をもとに成果・課題をまとめ、北海道教育委員会Webページに公開

# 「まな Labo (まなび + Laboratory) 」の展開

背景

- コロナ禍で登校が難しい間の家庭学習を支援する、**民間企業等の協力が顕在化。**
- 広域分散型の本道では、**身近な公共施設の利活用**の可能性を引き出すことが有効。

目的

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響などにより登校できない子どもに**端末やルーターを貸与**し、学びを継続させるシストルーターをです。
- **民間企業との連携により、身近な公共施設をオンライン学習拠点「まな Labol community** として整備することで、「新たな生活様式」下での学びの機会を保障。

#### 事業内容



#### D-SCHOOL(連携協定企業)



- ・道教委との連携協定の締結→より充実した連携に向けて協議を継続
- ・端末やルーターの貸し出し
- ・濃厚接触等により学校に来られない子どもへの授業のライブ中継等
- ・今後の臨時休業に備えた子どもたちへの学習支援体制と実施ノウハウの構築
- ・へき地・小規模校における放課後学習への応用展開
- ・オンライン学習のノウハウの提供

## 北海道教育庁

- ・学習コンテンツの提供
- ・オンライン学習のノウ . ハウの提供

連携協定



企業・コミュニティが支える 『まな L a b o 』 トライアル を実践

### 小・中学校(配信校)



- ・学習コンテンツの提供
- ・双方向オンライン学習の実施



コロナ禍で在宅中でも学びを持続
※希望により端末・ルーターを貸与

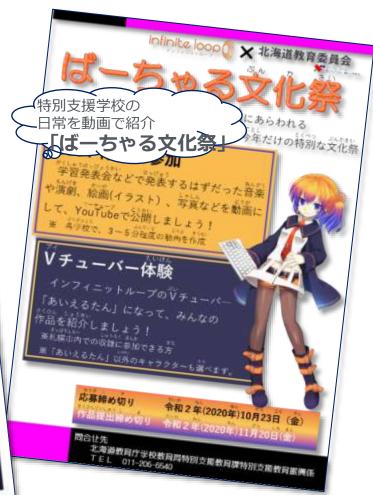
「まな Labo」
Home

地域協働で「学びを止めない」教育環境を実現

# Colorful Serout by CT」 プロジェクト

ICTを活用し、障がいのある子どもたちの多彩な才能を開花する、さまざまな取組を進めています。





本プロジェクトでは、このほか「<u>オンデマンド学習教材</u>の作成・配布」や「**ICTソフト&機器**の整備」を進めています。

# 学びの保障に向けた道教委の取組 ~Student First+2020~

これからの北海道の子どものために・・・・